みがく　かがやく　本小っ子

第６号
五島市立本山小学校通信
令和６年６月７日
文責　：　境目　直行

６月に入り天気予報では、今年の梅雨入りの話題が多くなってきています。ジメジメとした日や雨の日が多くなるこの時期、なんとなく気分も晴れないことも多くなってくるようです。

しかし、この時期がなければ、今後の水不足の心配も出てきますし、生き物や作物にとっては重要な時期でもあります。

日本語には、たくさんの雨を表す言葉、雨の呼び名があります。一説によると４００語以上あるとも言われているようです。走り梅雨、暴れ梅雨、送り梅雨、返り梅雨、空梅雨、飛雨、涙雨、天泣、狐の嫁入り、鬼雨、などなど。

雨が降っている音や様子を表す言葉も豊富です。ぽつりぽつり、ぽつぽつ、ぱらぱら、ばらばら、しょぼしょぼ、しとしと、ざあざあ、などなど。雨粒の大きさや振り方が目に浮かびます。

日本語の表現の豊富さは、四季の移ろいを感じながら自然と共に生きてきた日本人の豊かな感性を表しているようです。

梅雨の季節、雨の様子を見ながら自分なりの表現を考え、楽しむこともできるかもしれません。

あいさつで「ぽっかぽか」

新年度が始まり２か月が経ちました。学級園の植物たちも元気に育ち、大きく成長しています。本小っ子の毎日のお世話のおかげでしょう。

実は最近、年度初めの頃の元気なあいさつが見られなくなってきたかなあと感じ、新年度の緊張感の緩和や大きな行事をやり遂げた安心感からきているのだろうとしばらく様子を見ようと思っていたところでした。

しかし、私の見立ては違っていたようです。

先日、地域の方から、「お休みの日にすれちがった小学生（おそらく低学年）から元気なあいさつをいただきました。ちょっと疲れ気味だったのですが、元気になりました。ありがとうございました。」と連絡が入ったのです。

さらには、地域の方々との話合いの場で「子ども達のあいさつに元気づけられている。遠くからあいさつをしてくれたり、気軽に話しかけたりしてくれる。あいさつは上手ですよ。」との言葉をいただきました。

いろいろな人の心を「ぽっかぽか」にしていることに感動しました。これからも楽しみです。

お願いです

子ども達の登下校時において、校門前に送迎の車が並ぶことがあります。これから梅雨に入り雨が多くなると、これまでよりも送迎の機会が多くなることが予想されます。

以前も「車が通行できない。」「車庫から出られない。」などの訴えや実際に児童が接触しそうになった事案があったように聞いています。

協学会総会でお願いした交差点付近での停車とともに、校門前（左右の曲がり角から正門までの直線部分）での停車については御配慮いただきますよう、お願いいたします。

学校だよりはホームページで確認できます。

【つぶやき】

「失敗は成功のもと」よく聞かれる言葉である。これまで自分自身、心の中で何度もつぶやいた言葉でもある。

目標達成や楽しく生活するために日々言動に気をつけているが、意図や気持ちがうまく伝わらず、周りの人を不快にさせてしまったり、期待した結果につながらなかったりする。なかなかうまくいかないものだ。

先日、大谷翔平選手がインタビューで答えていた。「良くなるように毎日やっていますし、良い日もあればもちろん悪い日もあるので、それを毎日チェックしながらやっている感じかなと思います」

同じ失敗は繰り返したくない。失敗を成功につなげるためには、自身の失敗を素直に認め、よりベターなものに改善していくしかない。完璧な人間など、この世にはいないのだから…。

卑屈にならず、柔らかな心持ちで、ぼよよ～んと乗り越えていきたい。昨日よりちょっとだけでも前に進めたら御の字だ。